

平成16年12月期

第1四半期業績の概況(連結)

平成16年5月14日

上場会社名 大和冷機工業株式会社 (コード番号:6459 東大各第一部)
 (URL <http://www.drk.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 尾崎 敦史
 問合せ先責任者 役職名 専務取締役 業務本部長 氏名 三浦 明 TEL(06)6767-8171

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の移動の状況 : 無

2. 平成16年12月期第1四半期の業績概況(平成16年1月1日~平成16年3月31日)

(1) 連結売上高

ご参考: 単独売上高

(百万円未満切捨)			(百万円未満切捨)		
	百万円	%		百万円	%
16年12月第1四半期	4,852	-	16年12月第1四半期	7,485	-
15年12月第1四半期	-	-	15年12月第1四半期	-	-
(参考)15年12月期	18,917		(参考)15年12月期	32,714	

(注) 四半期業績の開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[売上高(連結)に関する補足説明]

当該四半期におけるわが国経済は、アジア向けの輸出増加や設備投資が上向くなど、一部では企業主導による緩やかな景気回復の動きが見られるものの、個人消費は、所得・雇用環境の厳しさから低迷を続け、総じて力強さを欠いた状況で推移致しました。

当社グループの主力市場の一つでもある外食産業においても、全体では回復感に乏しい基調が続いております。また、BSEや鳥インフルエンザ問題などにより、大きな影響を受けた業態もありました。

このような中で、当社グループは地域密着型の直販体制を推移するとともに、需要の創造ならびに高付加価値製品の開発を図り事業の拡大を目指しました。この結果、第一四半期における連結売上高は4,852百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年12月期の連結業績予想(平成16年1月1日~平成16年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	11,500	2,000	2,050	39	71
通期	23,000	4,000	4,100	79	43

ご参考: 平成16年12月期の単独業績予想(平成16年1月1日~平成16年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	17,500	1,900	950	18	40
通期	35,000	3,800	1,900	36	81

業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。